

地域内フィーダー系統の計画への位置付け

資料 3

- ・ 神戸市北区柏尾台地区・青葉台地区では、地域内にバス停は存在するものの、最寄りのバス停まで距離があり、勾配も高いため、徒歩等で移動することが困難である。さらに、高齢化率も高いため、自家用自動車を運転できない高齢者等の移動手段の確保が喫緊の課題である。このような課題の解決のため、地域住民が主体となって、地域コミュニティ交通の導入検討を進めている。
- ・ 現在、試験運行を実施しており、結果が良好であれば令和8年3月から本格運行を予定している。その際、国から交通不便地域の指定を受け、フィーダー補助の申請を行う予定である。



※ R3.4の要綱改正により、地域公共交通計画への位置付けが補助要件化

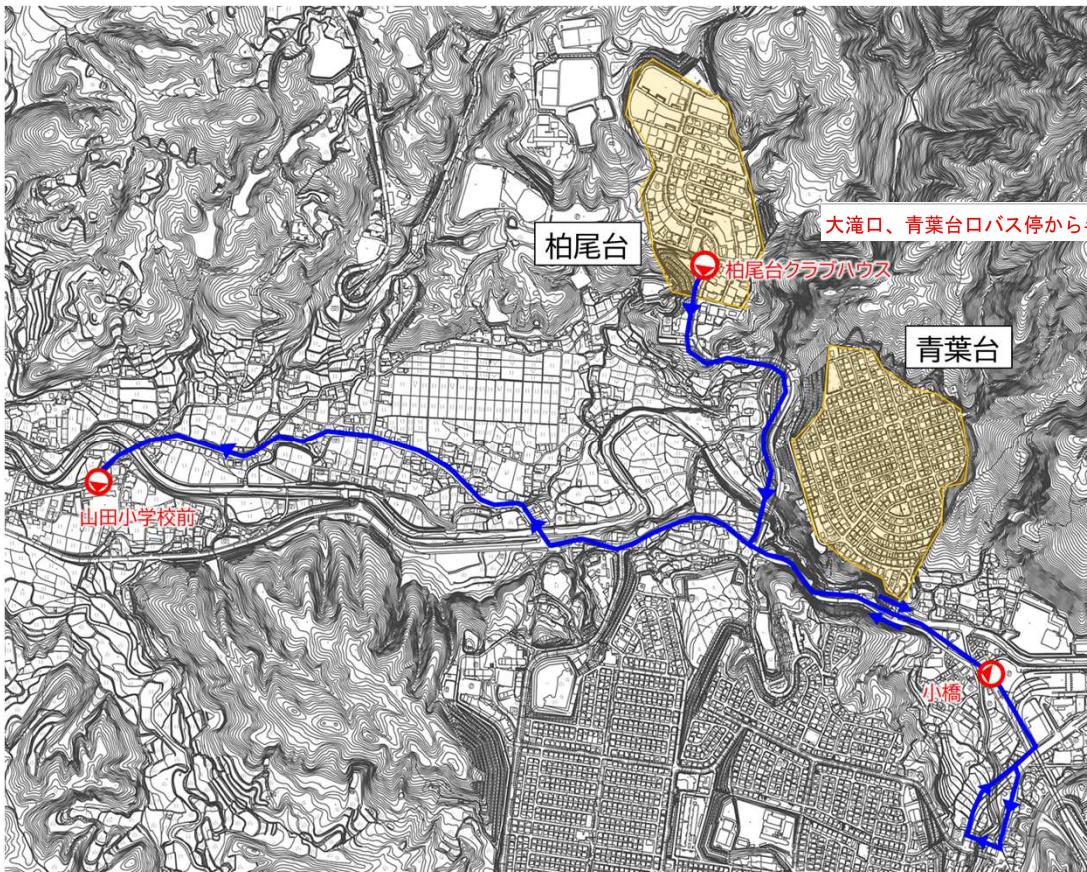
柏尾台・青葉台の地域コミュニティ交通を地域公共交通計画に位置付け

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請

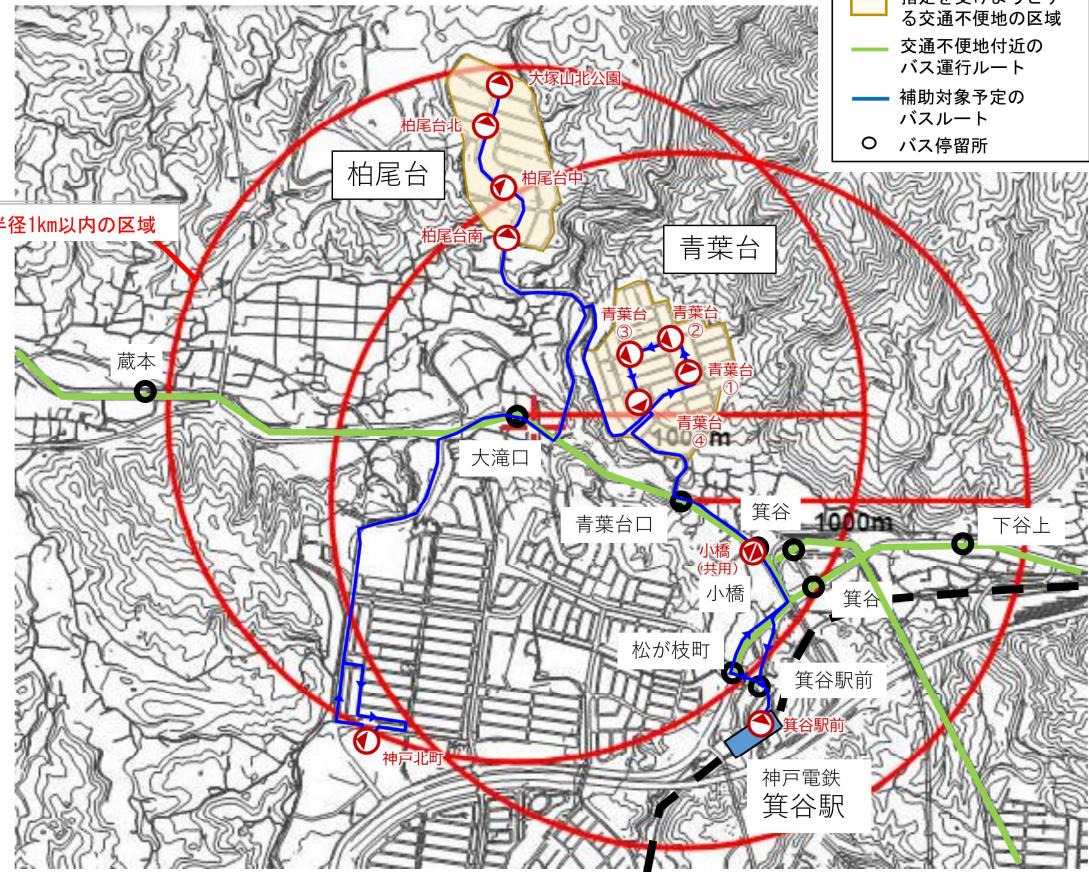
- ・ R3.4の要綱改正の経過措置終了に伴い、令和7年度事業交付申請より、交付申請者が活性化法定協議会のみに限定されるとから、今後、国土交通大臣への交付申請について、活性化協議会名で申請書を提出する。
- ・ 生野高原における令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（運行系統数：3、補助金の額：271千円）

指定を受けようとする交通不便地域の区域図 (柏尾台・青葉台)

朝便



日中便



【凡 例】
■ 鉄道駅
■ 指定を受けようとす る交通不便地の区域
■ 交通不便地付近の バス運行ルート
■ 補助対象予定の バスルート
○ バス停留所